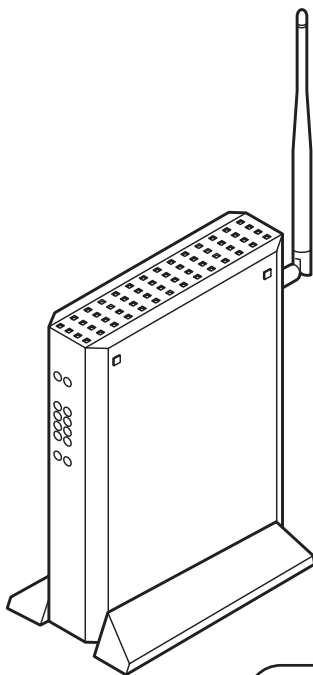
CG-WLBARBV2
CG-WLBARBV2-P

お使いの手引き

※ CG-WLCB11V3（無線LANカード）は、「CG-WLBARBV2-P」にのみ付属しております。

PN Y613-03315-00 Rev.A

安全のために 必ずお守りください！

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります

- **分解や改造をしない**
  本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。
- **雷のときはケーブル類・機器類にさわらない**
  感電の原因となります。
- **異物は入れない / 水は禁物**
  火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。
- **付属の専用 AC アダプターおよび電源ケーブル以外で使用しない**
  火災や感電の原因となります。必ず付属の電源ケーブルを使用してください。

ご使用にあたってのお願い

●次のことをお守りください

- **取り扱いはていねいに**
  落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。
- **通風口はふさがない**
  内部に熱がこもり、火災の原因となります。
- **湿気やほこりの多いところ油煙や湯気のあたる場所には置かない**
  火災や感電の原因となります。

●次のような場所での使用や保管はしないでください

- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（製品仕様に記載された環境でご使用ください）
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- 腐食性ガスの発生する場所

●本製品は一般使用を目的とした製品です

本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や設計、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

●日本国内でご使用ください

本製品は日本国内仕様となっておりますので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

お手入れについて

- **機器は乾いた柔らかい布で拭く**
  汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- **お手入れには次のものは使わないでください**
  石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください）

電波に関するご注意

本製品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。
また設置の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

- ・心臓ペースメーカーをご使用の近くで、本製品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカーに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- ・医療機器の近くで、本製品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- ・電子レンジの近くで、本製品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局) が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の周波数を変更して、混信を回避してください。

3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合などは本製品の使用を停止し、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を超えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ・ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
- ・メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- ・個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- ・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- ・傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- ・コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

などの行為をされてしまう可能性があります。
本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線LANのセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

目　次

1. はじめに

このたびは、「CG-WLBARBV2」「CG-WLBARBV2-P」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでも参照していただけるように、大切に保管してください。

●添付マニュアルのご紹介

本製品には、次のマニュアルが添付されています。
本製品の各マニュアルをよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。

1. お使いの手引き（付属：本書）

安全にお使いいただくためのご注意や、添付品の内容、各部の名称と機能、サポートに関する情報、本製品の基本的な設定手順などを説明しています。
本製品をお使いになる前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

2. 取扱説明書（弊社ホームページよりダウンロード）

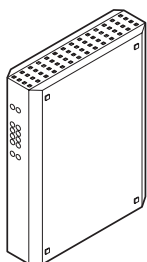
WEP やWPAなどのセキュリティー設定やダイナミックDNSなどの高度な接続手順を説明しています。「お使いの手引き」で基本的な設定が完了したあと、弊社ホームページからダウンロードしてください。

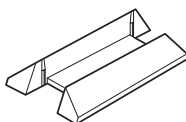
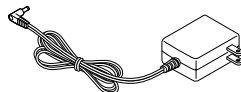
設定ユーティリティー画面の
「取扱説明書」をクリックします。

3.CG-WLCB11V3 マニュアル(CG-WLBARBV2-P のみ)

・詳細マニュアル(ユーティリティーディスク収録：PDF マニュアル)
　セキュリティー設定など、詳細な機能説明や設定方法などを説明しています。

・トラブル解決 Q&A(ユーティリティーディスク収録：PDF マニュアル)
　トラブルシューティングについて説明しています。必要に応じてご覧ください。

2. 同梱品一覧

・CG-WLBARBV2　本体　　・簡単ルーター接続ソフト（CD-ROM）

・アンテナ
（工場出荷時は本体に装着）

・スタンド

・AC アダプター

・LAN ケーブル
・お使いの手引き（本書）
・電波干渉注意シール
・製品保証書

※「CG-WLBARBV2-P」には、以下の二つも同梱されています。

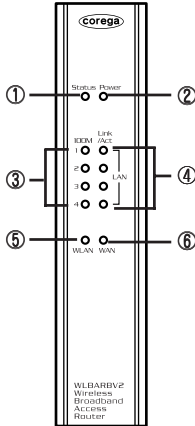
・CG-WLCB11V3

・ユーティリティーディスク（CD-ROM）

ソフトウェアと PDF マニュアル(「詳細設定ガイド」「トラブル解決 Q&A」)が収録されています。

3. 各部の名称と機能

● CG-WLBARBV2/CG-WLBARBV2-P

ー前面ー

① Status LED(赤)
システム起動時の状況が表示されます。
点灯　：起動中です。
点滅　：初期化中です。
消灯　：本製品は正常に動作しています。

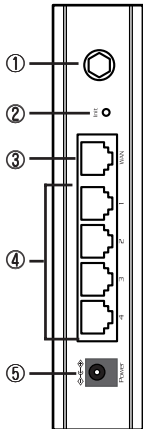
② Power LED(緑)
本製品の電源が入っているときに点灯します。

③ 100M LED(橙)
本体背面のLANポートの動作速度が表示されます。
点灯　：100Mbpsでつながっています。
消灯　：10Mbpsでつながっています。

④ Link/Act LED(緑)
本体背面のLANポートの状態が表示されます。
点灯　：ケーブルが正常につながっています。
点滅　：データ通信中です。
消灯　：ケーブルがつながっていません。

⑤ WLAN LED(緑)
本製品が無線通信をしているときに点灯します。

⑥ WAN　LED(緑)
本体背面のWANポートの状態が表示されます。
点灯　：ケーブルが正常につながっています。
点滅　：データ通信中です。
消灯　：ケーブルがつながっていません。

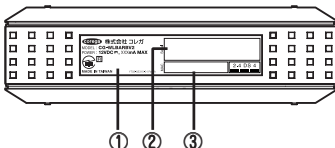
ー背面ー

① アンテナ(SMAコネクター)
電波の送受信部です。別売のオプショナルアンテナ(CG-WLANTODAG)を取り付けることができます。

② Initスイッチ
本製品の再起動、または設定内容を工場出荷時の状態に戻すときに使用します。操作方法については「本製品を工場出荷時の状態に戻す」(P.34)、または弊社ホームページよりダウンロードした取扱説明書をご覧ください。

③ WANポート
本製品とモデムまたはハブなどにつなぐためのポート(RJ-45)です。

④ LANポート
パソコンやハブを接続するためのポートです。1～4までの4つのポートがあります。100Mbps/10Mbpsの切り替えは、オートネゴシエーション機能によって自動的に行われます。

⑤ DCジャック
添付の専用ACアダプターをつなぐためのコネクターてす。

ー底面ー

①警告ラベル
本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されておりますので、必ずお読みください。

② シリアル番号ラベル
本製品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、弊社サポートセンターへの問い合わせの際に必要になります。

③ MACアドレスラベル
本製品のWAN側ポートのMACアドレスが記載されています。

● CG-WLCB11V3 （CG-WLBARBV2-Pのみ付属）

ー前面ー

①Link LED(緑)
　点灯：Linkが確立または通信中です。
　消灯：通信相手先の検索中です。

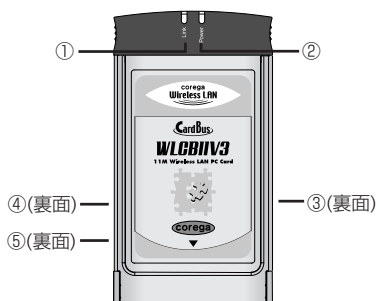
②Power LED(緑)
　点灯：電源が入っている状態です。
　消灯：電源が入っていない状態です。

ー裏面ー

③警告ラベル
　本製品を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。必ずお読みください。

④シリアル番号ラベル
　本製品のシリアル番号(製造番号)とリビジョンが記入されています。
　※ シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせの時に必要な情報です。

⑤MACアドレスラベル
　本製品のMACアドレスが記載されています。

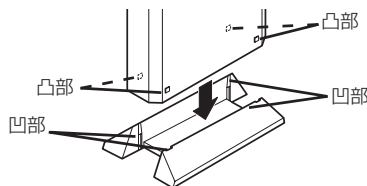
メモ

裏面のラベルに記載されている 2.4 DS 4 は次の内容を意味しています。

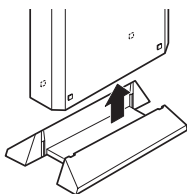
使用周波数帯域	:2.4GHz
伝送方式	:DS-SS
想定干渉距離	:40m以下
周波数変更の可否	:全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」帯域を回避可能

●スタンドの取付方法

　本製品に付属のスタンドを使用して、本製品を縦置きに設置することができます。

〈スタンドを取り付けるとき〉

スタンドの向きを下図のようにして、本製品の凸部がスタンドの凹部の位置にくるようにはめ込みます。

〈スタンドを取り外すとき〉

　スタンドから本製品を真上に引き抜きます。

4. ステップ手順

Windows 編

フレッツ・ADSL / B フレッツ(PPPoE)の場合

Yahoo！BB / CATV(DHCP)の場合

●有　線

●無　線

本製品をつなげてみよう（P.25）

無線 LAN カード「CG-WLCB11V3」をインストールしよう（P.14）

「簡単ルーター接続ソフト」を使ってみよう（P.27）

※ LAN ポートがない方、またはこのステップ手順に合わない方は「簡単ルーター接続ソフト」画面内の「取扱説明」をクリックし、「手動セットアップ」をご覧ください。

この画面が出たら…

この画面が出たら…

プロバイダーの情報を入力しよう（P.29）

・ IP 自動取得(DHCP)を選ぶ

パソコンの通信環境を変更しよう（P.28）

・ パソコンの再起動

・ CD の出し入れ

完 了！

CATV は CATV 会社の規格によって手順が異なる場合があります。

Macintosh 編

本書で説明している操作は、有線で行ってください。
無線接続をする場合は、本製品及び Air Mac の取扱説明書をご覧ください。

本製品をつなげてみよう

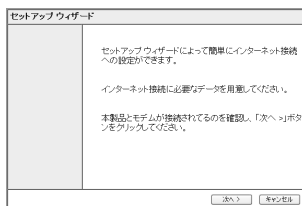
- **フレッツ・ADSL / B フレッツ(PPPoE)(次ページ)**
- **Yahoo！BB / CATV(DHCP)(P.25)**

Macintosh でウィザード画面を表示させよう（P.32）

※ Macintosh をご利用の場合、本製品付属の「簡単ルーター接続ソフト」をご使用することができません。この項目の操作をして、ウィザード画面を表示させてください。

プロバイダーの情報を入力しよう

- **フレッツ・ADSL / B フレッツ(PPPoE)(P.22 の③)**
- **Yahoo！BB / CATV(DHCP)(P.30 の③)**

※ CATV は CATV 会社の規格によって手順が異なる場合があります。

完 了！

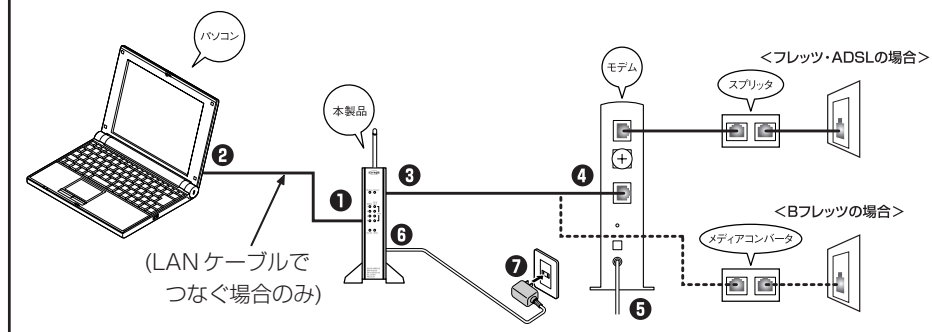
5. 本製品をつなげてみよう

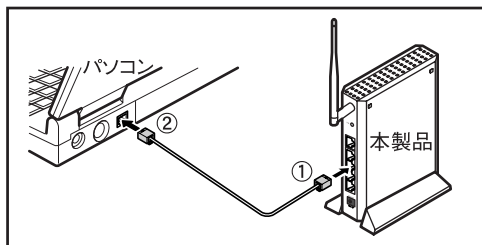
フレッツ・ADSL/B フレッツ(PPPoE)編

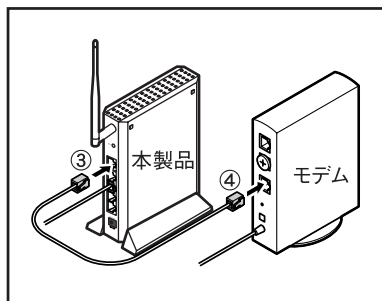
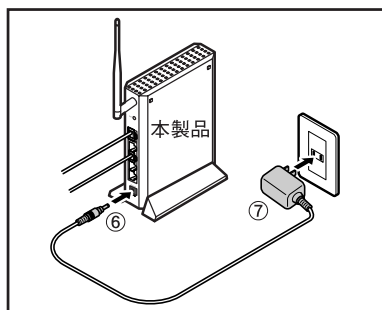
Windows　Macintosh

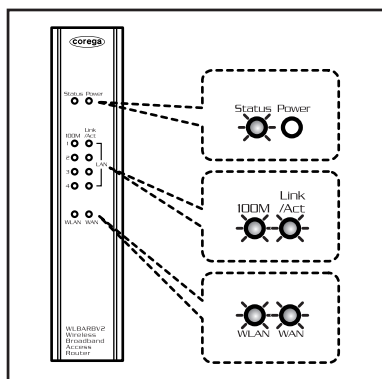
1. パソコンの準備をする

・ パソコンに「LAN ポート」が付いているかを確認します。
・ 本製品とパソコンをつなげる「LAN ケーブル」を用意します。

2. 本製品とパソコン、モデムをつなぐ

本製品につなぐモデム、パソコンなどの電源をすべて切っておいてください。

① 本製品の LAN ポートに LAN ケーブルをつなぎます。
② パソコンの LAN ポートに LAN ケーブルをつなぎます。
LAN ケーブルでつなぐ場合のみ

メモ　①②は、本製品とパソコンの間を LAN ケーブルでつなぐ場合のみの手順です。

③ 本製品のWANポートにLANケーブルをつなぎます。
④ モデムまたはメディアコンバータのLANポートにLANケーブルをつなぎます。
※モデムと回線をモジュラーケーブルでつないでおきます。

⑤ モデムのACアダプターをつなぎます。
⑥ 本製品にACアダプターのDCジャックを差し込みます。
⑦ ACアダプターを電源コンセントに差し込みます。本製品に電源が入ります。

⑧ つながっていることを確認します。
前面のPower、WAN側、LAN側両方の100M、Link/ActのLEDが点灯していることを確認してください。

・100M LEDは、100M対応のLANポートにつなぐと点灯します。
・お客様の通信機器の環境によって、点灯しない場合があります。

Windows
無線接続→次ページへ
有線接続→P.19へ

Macintosh→P.32へ

3. 無線LANアダプターのユーティリティーをインストールする 無線でつなぐ場合のみ

本製品を無線でご利用になる場合は、無線LANアダプターの設定が必要です。

・「CG-WLBARBV2」の場合

ご使用になる無線LANアダプターの取扱説明書をご覧になって設定を行ってください。

・「CG-WLBARBV2-P」の場合

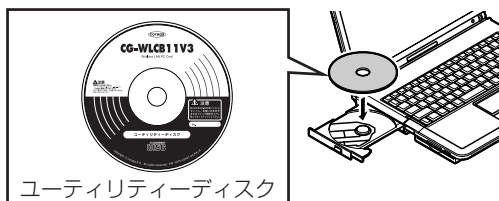
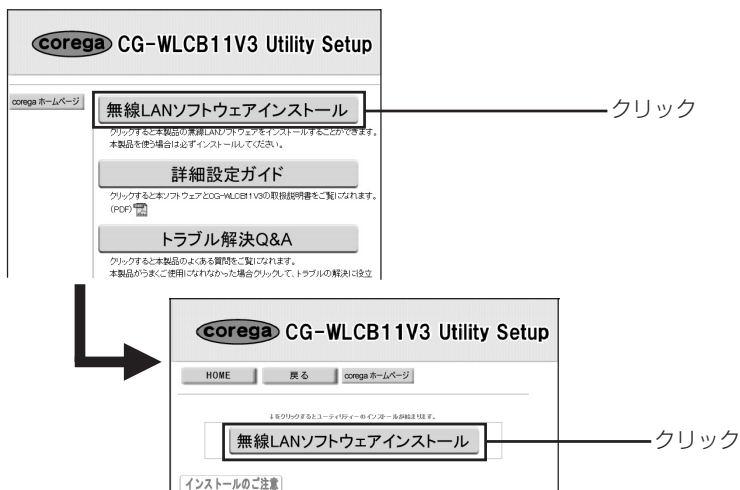
付属の「CG-WLCB11V3」をパソコンにインストールします。インストール方法は以下の通りです。

- 現在使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」または同等の権限を持つユーザー名でログオンしてください。
- Windows 2000の場合は「Administrator」または Administrators グループのユーザー名でログオンしてください。
- CG-WLCB11V3はインストール作業が終わるまでパソコンに差し込まないでください。

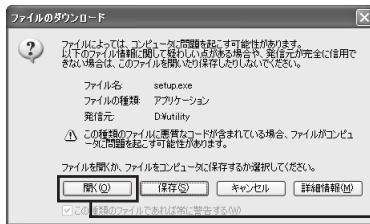
❶「CG-WLCB11V3」ユーティリティーのインストール

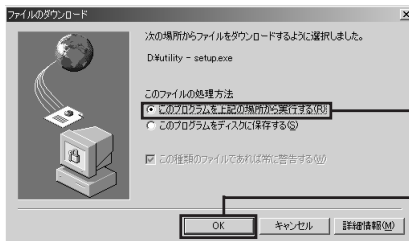
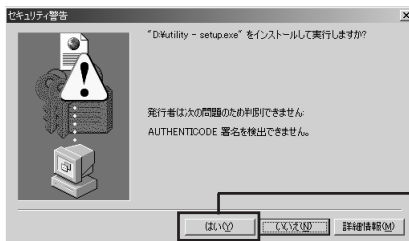
① ユーティリティーディスクをドライブに入れます。

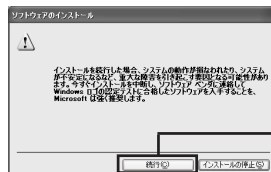
自動的に②の画面が表示されます。(しばらく待っても表示されない場合は、「マイコンピュータ」の CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。)

ユーティリティーディスク

②「無線LANソフトウェアインストール」をクリックして、次に表示された画面でも「無線LANソフトウェアインストール」をクリックします。

③「開く」または「このプログラムを上記の場所から実行する」をクリックします。

Windows XP の場合

次のような画面が表示されますが、そのまま「開く」をクリックします。

Windows 2000/Me/98SE の場合

「このプログラムを上記の場所から実行する」を選択して、「OK」をクリックします。

セキュリティ警告が出ますが、そのまま「はい」をクリックします。

④ その後「Installshield wizard」の画面がいくつか出てきますので、「次へ」をクリックしていきます。

Windows XP の場合、次のような画面が表示されますが、そのまま「続行」または「はい」をクリックしてください。

⑤「メンテナンスの完了」の画面が表示されたら、CD-ROMドライブからユーティリティーディスクを取り出して、「完了」をクリックします。

⑥ パソコンを再起動します。

インストールをしたあとは、必ず再起動してください。

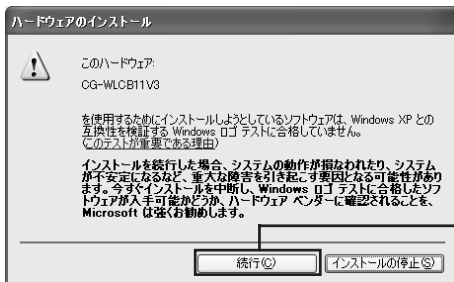
❷「CG-WLCB11V3」をパソコンに差し込む

① パソコンが起動したら、パソコンのPCカードスロットに CG-WLCB11V3をまっすぐに差し込み、手ごたえがあるまで押し込みます。

パソコンにより差し込む位置や向きが異なります。

②ドライバーが自動的にインストールを開始します。

Windows XP の場合

1. 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されるので、「次へ」をクリックします。
2. 次のような画面が表示されますが、そのまま「続行」をクリックします。

3. ドライバーのインストールが完了したというメッセージ画面になります。「完了」をクリックします。
4. パソコンを再起動します。

Windows 2000 の場合

1. Windows 2000 の場合、「デジタル署名が見つからない」というメッセージが出ますが、そのまま「はい」をクリックします。

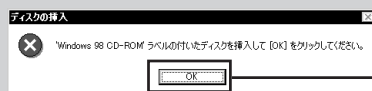
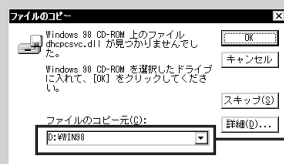
2. パソコンを再起動します。

Windows Me / 98SE の場合

1. 自動的に CG-WLCB11V3 のドライバーがインストールされます。

注意

・Windows 98SEではOSのCDを挿入するようメッセージが表示される場合があります。その時は以下のようにしてください。

1.「OK」をクリックします。

2.「ファイルのコピー元」に以下のように入力し「OK」をクリックします。

CD-ROM ドライブから本製品の「ユーティリティーディスク」と、「Windows 98SE の CD-ROM」を入れ替え、
「**D:¥WIN98**」
と入力するか、またはそのまま
「**C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS**」
と入力する

※ドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。「マイコンピュータ」をダブルクリックして確認してください。

2. パソコンを再起動します。

❸「CG-WLCB11V3」のユーティリティー画面で本製品とつながっていることを確認する

① パソコンが起動したら、タスクバーにのいずれかが表示されるので、クリックしてユーティリティー画面を表示させます。

② 「状態」タブで接続先等を確認します。(工場出荷時は「corega」に設定されています。)

メモ 接続先が表示されていないときは、「AP検索」タブを開いて、接続先を検索してください。

フレッツ・ADSL / Bフレッツ(PPPoE)の場合
→次ページへ
Yahoo！BB / CATV(DHCP)の場合
→P.27へ

4. 簡単ルーター接続ソフト（CD-ROM）を入れる

・ご使用の前にP.34の手順に従って本製品を工場出荷時状態に戻してください（ご購入直後の場合は必要ありません）。

・つなごうとするパソコンにセキュリティーソフト(ウイルス駆除ソフト、ファイヤーウォールソフトなど)が稼動していると、この手順どおりにできない場合があります。その場合はセキュリティーソフトを一時的に停止させてください。

① CD-ROMをCDドライブに入れます。自動的にソフトウェアが起動します。

簡単ルーター接続ソフト
CD-ROM

自動的にソフトウェアが起動

この画面が出たときは…

corega 簡単ルーター接続ソフト

ルーターに接続します。
パソコンとルーターとの接続を確認し、
ログイン釦をクリックしてください。

ログイン
終了

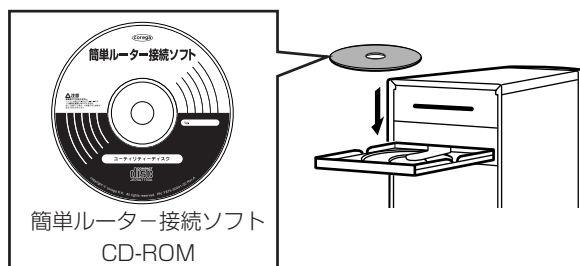
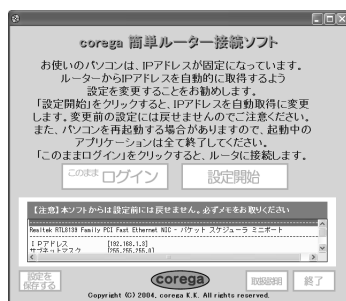
P.22へ

この画面が出たときは…

corega 簡単ルーター接続ソフト

お使いのパソコンは、IPアドレスが固定になっています。
ルーターからIPアドレスを自動的に取得するよう
設定を変更することをお勧めします。
「設定開始」をクリックすると、IPアドレスを自動取得に変更
します。変更前の設定には戻せませんのでご注意ください。
また、パソコンを再起動する場合がありますので、起動中の
アプリケーションは全て終了してください。
「このままログイン」をクリックすると、ルータに接続します。

このまま ログイン　設定開始

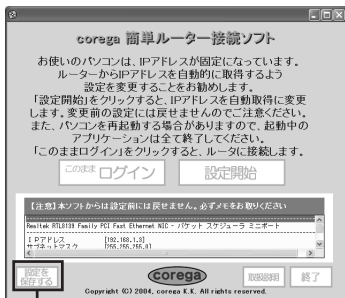
【注意】本ソフトからは設定前には戻せません。必ずメモをお取りください

次ページへ

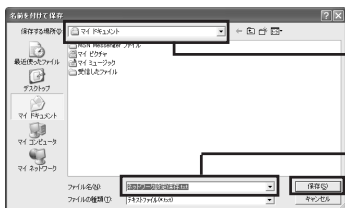
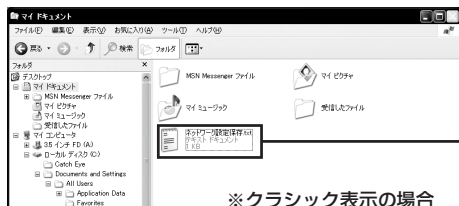
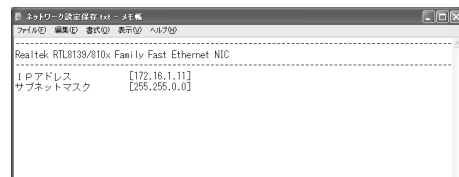
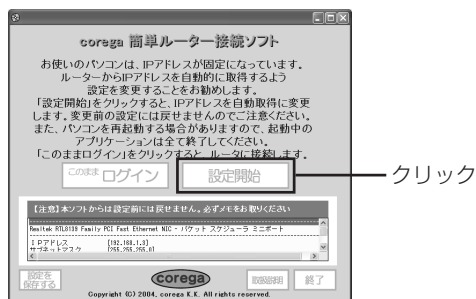
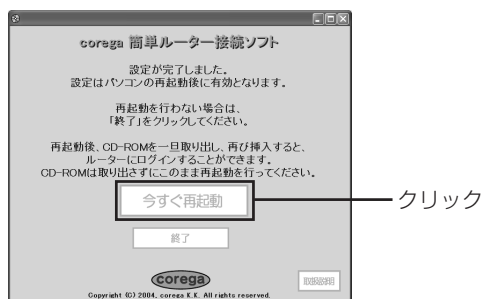
「簡単ルーター接続ソフト」がうまく動作しない場合は、「簡単ルーター接続ソフト」を使わずに本製品を操作してください。
操作方法は「簡単ルーター接続ソフト」に収録されています。画面内の「取扱説明」をクリックして、「手動セットアップ」をご覧ください。

●パソコンの通信環境を変更しよう

下の画面が表示されたときは、以下の手順でパソコンの通信環境を変更します。

① ［設定を保存する］をクリックして、通信環境を保存します。

保存した「通信環境」は、本製品を使用しなくなったときに必要になりますので、大切に保管してください。

クリックする

② 保存先を指定して［保存］をクリックします。
(例:「マイドキュメント」内に「ネットワーク設定保存」という名称で保存。)

・保存されると、下画面のように表示されます。

・保存ファイルは、テキスト形式で下画面のように保存されます。

③［設定開始］ボタンをクリックします。

④ パソコンを再起動するメッセージが表示されますので、［今すぐ再起動］ボタンをクリックします。再度起動すると、通信環境が変更されます。

⑤ 再起動後、CD-ROMをパソコンのCDドライブから取り出し、再度CDドライブに入れます。自動的に次ページの画面が表示されます。

●プロバイダーの情報を入力しよう

プロバイダーの情報を本製品に入力します。以下の手順を行ってください。

①［ログイン］ボタンをクリックしてユーザー名(「root」)を入力し、［OK］をクリックします。

③ルーターの設定をします。

次ページへ続く

セットアップ ウィザード -インターネット接続（WAN側設定）

インターネット接続への設定（WAN側設定）をしてください。

インターネットへの接続方法を選んでください。

○IP自動取得（DHCP）

○IP固定設定

◉PPPoE（FLET'Sシリーズ）

＜戻る　次へ＞　キャンセル

①「PPPoE(フレッツシリーズ)」を選択

②「次へ」をクリック

セットアップ ウィザード -PPPoE（FLET'Sシリーズ）

プロバイダーからのデータを元に設定してください。

プロバイダーから届いた設定方法を元に接続ユーザー名と接続パスワードを入力してください。

接続ユーザー名: myname@isp.ne.jp

接続パスワード: ●●●●●●●●●●●

＜戻る　次へ＞　キャンセル

③「次へ」をクリック

契約書を確認!

①「ユーザーID※1 @プロバイダーのドメイン名」の形式※2で入力

②「パスワード※3※4」を入力

コレガるうた様

コレガインターネットサービス

ユーザーID
myname

パスワード
password02

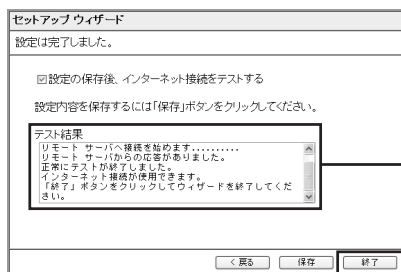
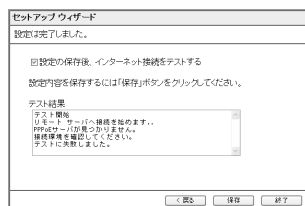
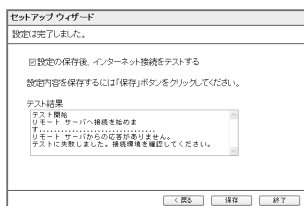
凡例
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789

※1 プロバイダーによって「アカウント」「ユーザーアカウント」などと表記される場合もあります。

※2 プロバイダーによって形式が異なることがあります。

※3 このパスワードは、インターネットにつなぐためのパスワードです。メール送受信用のパスワードは入力しないでください。

※4 パスワードは「●」または「*」で表示されます。

接続テストが成功すると、下のような画面が表示されます。[終了] ボタンをクリックして、セットアップウィザードを終了させます。

下のようなメッセージが表示されたときは、正しく入力等がされていないか、正しくケーブル等がつながっていません。もう一度P.12からをご覧になり、操作を確認して、再度［保存］ボタンをクリックしてテストを行ってください。

ユーティリティー画面のTOPページ(P.5の画面)が表示されたら、「簡単ルーター接続ソフト」をCD-ROMドライブから取り出します。

ユーティリティー設定を引き続き行う場合は、ユーティリティー画面にある［取扱説明書］ボタンをクリックしてダウンロードして、取扱説明書をご覧になり、設定を行ってください。

ユーティリティー画面を終了させるときは、［Logout］ボタンをクリックします。

フレッツ・ADSL/Bフレッツ(PPPoE)編 完了

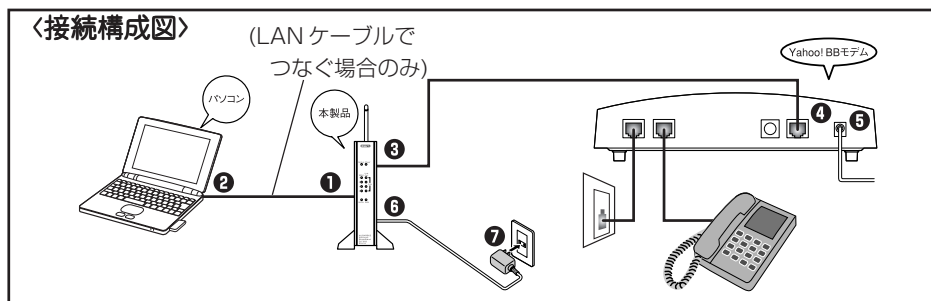
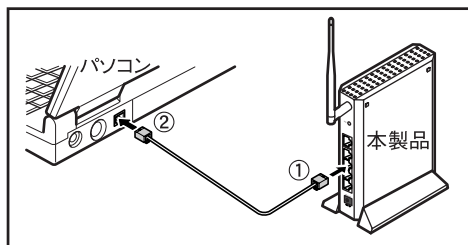
Yahoo！BB/CATV(DHCP)編

Windows　Macintosh

1. パソコンの準備をする

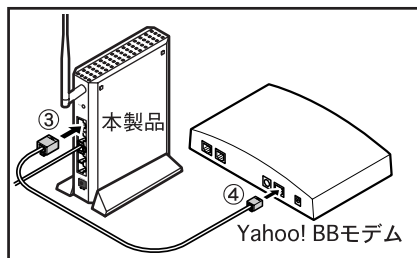
・パソコンに「LAN ポート」が付いているかを確認します。
・本製品とつなぐ「LAN ケーブル」を用意します。

2. 本製品とパソコン、モデムをつなぐ

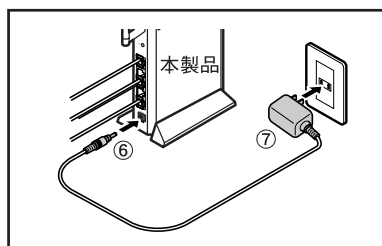
本製品につなぐモデム、パソコンなどの電源をすべて切っておいてください。

① 本製品の LAN ポートに LAN ケーブルをつなぎます。
② パソコンの LAN ポートに LAN ケーブルをつなぎます。

LAN ケーブルでつなぐ場合のみ

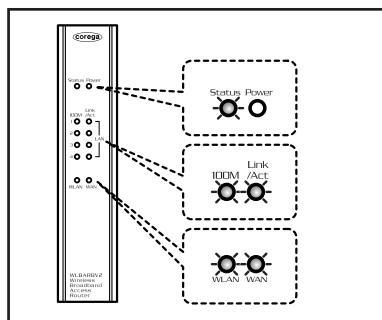
①②は、本製品とパソコンの間をLAN ケーブルでつなぐ場合のみの手順です。

③ 本製品の WAN ポートに LAN ケーブルをつなぎます。

④ モデムまたはメディアコンバータのLANポートにLANケーブルをつなぎます。
※モデムと回線をモジュラーケーブルでつないでおきます。

⑤ モデムのACアダプターをつなぎます。

⑥ 本製品にACアダプターのDCジャックをつなぎます。

⑦ ACアダプターを電源コンセントに差し込みます。本製品に電源が入ります。

⑧ つながっていることを確認します。
前面のPower、WAN側、LAN側両方の100M、Link/ActのLEDが点灯していることを確認してください。

・100M LEDは、100M対応のLANポートにつなぐと点灯します。
・お客様の通信機器の環境によって、点灯しない場合があります。

Windows有線→次ページへ

Macintosh→P.32へ

3. 無線LANアダプターのユーティリティーをインストールする 無線でつなぐ場合のみ

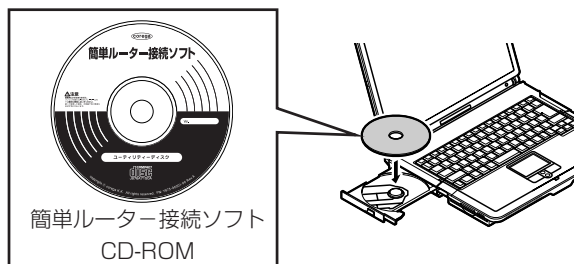
本製品を無線でご利用になる場合は、無線LANアダプターが必要です。詳しくは「フレッツ・ADSL/Bフレッツ編」「無線LANアダプターのユーティリティーをインストールする」(P.14〜)をご覧ください。

Windows無線→P.14へ

4. 簡単ルーター接続ソフト（CD-ROM）を入れる

・ご使用の前にP.34の手順に従って本製品を工場出荷時の状態に戻してください（ご購入直後の場合は必要ありません）。

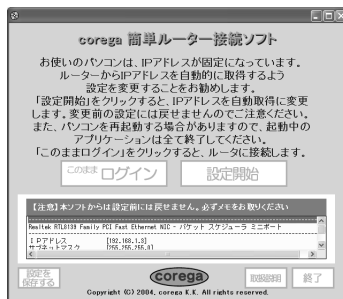
・つなごうとするパソコンにセキュリティーソフト(ウイルス駆除ソフト、ファイヤーウォールソフトなど)が稼動していると、この手順どおりにできない場合があります。その場合は、セキュリティーソフトを一時的に停止させてください。

① CD-ROMをCDドライブに入れます。自動的にソフトウェアが起動します。

簡単ルーター接続ソフト
CD-ROM

自動的にソフトウェアが起動

この画面が出たときは…

P.29「プロバイダー情報を入力しよう」へ

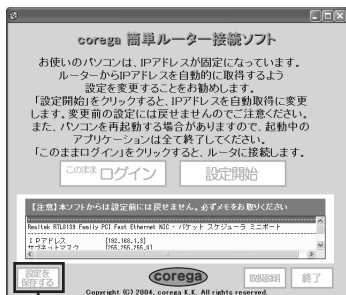
この画面が出たときは…

次ページへ

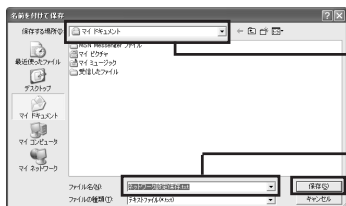
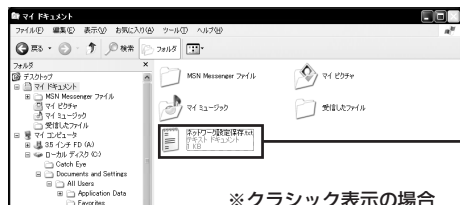
「簡単ルーター接続ソフト」が動作しない場合は、「簡単ルーター接続ソフト」を使わずに本製品を操作してください。操作方法は「簡単ルーター接続ソフト」に収録されています。画面内の「取扱説明」をクリックして、「手動セットアップ」をご覧ください。

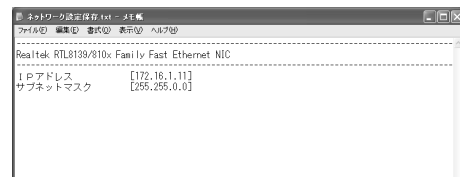
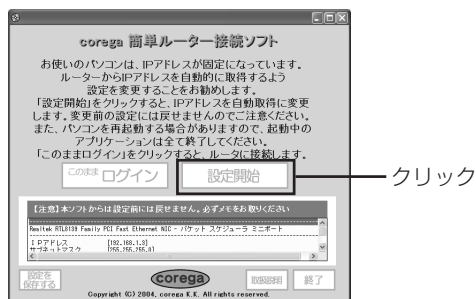
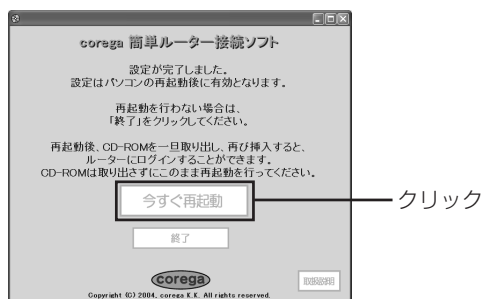
●パソコンの通信環境を変更しよう

本ソフトによってパソコンの通信環境を変えることができます。下の画面が表示されたときは、以下の手順を行ってください。

①［設定を保存する］をクリックして、通信環境を保存します。

保存した「通信環境」は、本製品を使用しなくなったときに必要になりますので、大切に保管してください。

クリックする

② 保存先を指定して［保存］をクリックします。
(例:「マイドキュメント」内に「ネットワーク設定保存」という名前で保存。)

・保存されると、下画面のように表示されます。

※クラシック表示の場合

・保存はテキスト形式で下図のように保存されます。

③［設定開始］ボタンをクリックします。

④ パソコンを再起動するメッセージが表示されますので、［再起動］ボタンをクリックします。再度起動すると、パソコンの通信環境が変更されます。

⑤ 再起動後、CD-ROMをパソコンから取り出し、再度CDドライブに入れます。自動的に次ページの画面が表示されます。

●プロバイダーの情報を入力しよう

プロバイダーの情報を本製品に入力します。以下の手順を行ってください。

①［ログイン］ボタンをクリックしてユーザー名(「root」)を入力し、［OK］をクリックします。

③ルーターの設定をします。

セットアップ ウィザード

セットアップ ウィザードによって簡単にインターネット接続への設定ができます。

インターネット接続に必要なデータを用意してください。

本製品とモデムが接続されてるのを確認し、「次へ >」ボタンをクリックしてください。

次へ >　キャンセル

「次へ」をクリック

簡単設定 – インターネット接続(WAN側設定)

インターネット接続への設定(WAN側設定)をしてください。

インターネットへの接続方法を選んでください。

◎IP自動取得(DHCP)
○IP固定設定
○PPPoE(FLET'Sシリーズ)

< 戻る　次へ >　キャンセル

①「IP自動取得(DHCP)」を選択

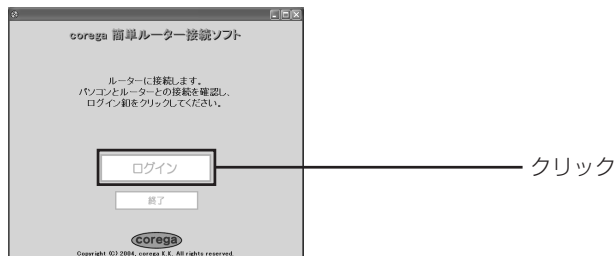
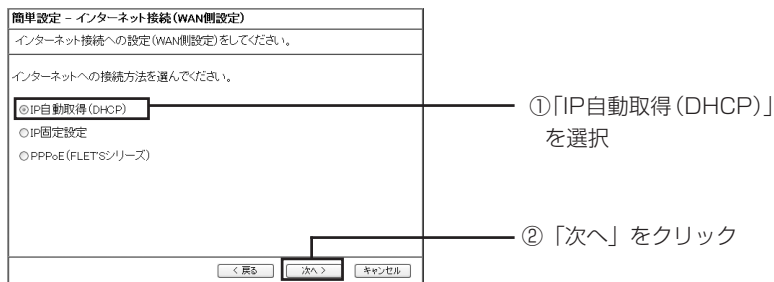
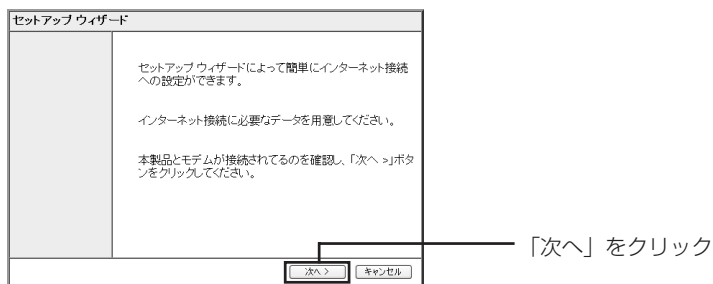
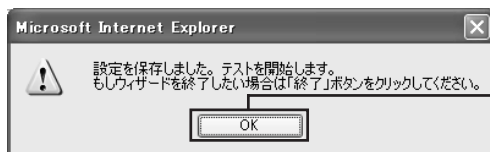
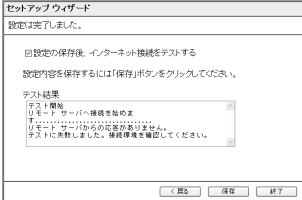
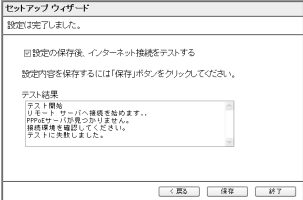
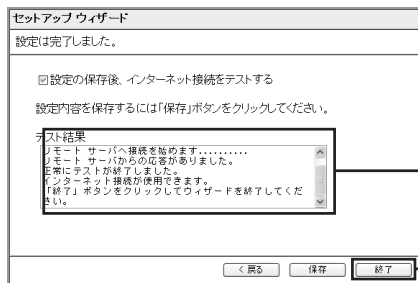
②「次へ」をクリック

簡単設定

設定は完了しました。

設定内容を保存するには「保存」ボタンをクリックしてください。

テスト結果

< 戻る　保存　終了

「保存」をクリック

接続テストに成功すると、下のような画面が表示されます。

下のようなメッセージが表示されたときは、正しく入力等がされていないか、正しくケーブル等がつながっていません。もう一度P.25からをご覧になり、操作を確認して、［保存］ボタンをクリックしてテストを行ってください。

ユーティリティー画面のTOPページ(P.5の画面)が表示されたら、「簡単ルーター接続ソフト」をCD-ROMドライブから取り出します。

ユーティリティー設定を引き続き行う場合は、ユーティリティー画面にある［取扱説明書］ボタンをクリックしてダウンロードして、取扱説明書をご覧になり、設定を行ってください。

ユーティリティー画面を終了させるときは、［Logout］ボタンをクリックします。

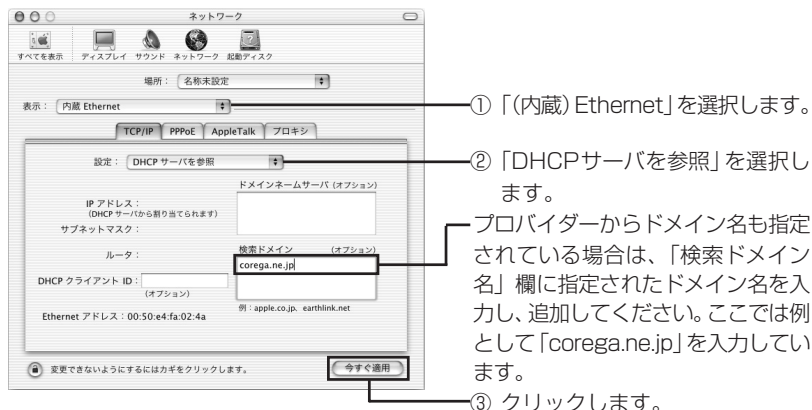
Yahoo！BB/CATV(DHCP)編 完了

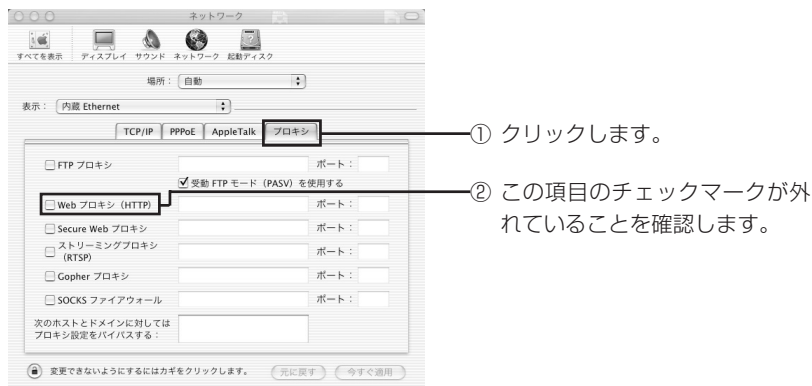
6.Macintoshでウィザード画面を表示させよう

1 「アップルメニュー」－「システム環境設定」を選択します。

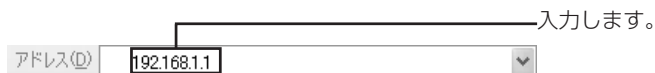
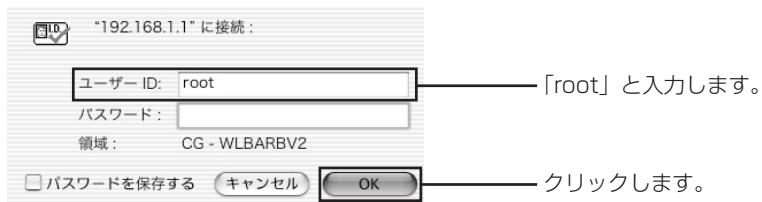
2 「システム環境設定」画面で「ネットワーク」をクリックします。

ツールバーに「ネットワーク」がない場合は、「すべてを表示」をクリックします。

3 「ネットワーク」の「表示」で「(内蔵) Ethernet」を、「TCP/IP」タブの「設定」で「DHCPサーバを参照」を選択します。

4 Webブラウザーの設定をします。
プロキシタブをクリックします。

5 「Webプロキシ(HTTP)」のチェックマークが外れていることを確認します。チェックマークが付いている場合は外します。

6 ［今すぐ適用］ボタンをクリックします。

7　本製品に接続したパソコンでInternet Explorer(Webブラウザー)を起動します。

8　Webブラウザーのアドレス入力欄に「192.168.1.1」と入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。

9　ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、ユーザー名の欄に「root」と入力し、［OK］ボタンをクリックします。

・工場出荷時の状態では、ユーザー名は「root」に設定されています。パスワードは設定されていません。

・ユーザー名、パスワードは変更できます。

10　設定ユーティリティーが起動します。

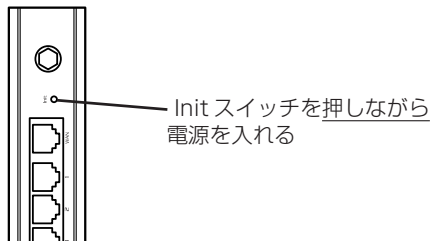
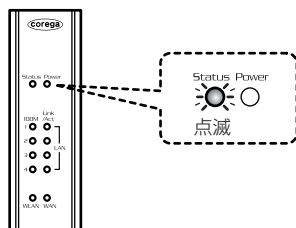
11　設定ユーティリティーの左側にある［Wizard］ボタンをクリックします。

次にプロバイダーの情報を入力します。

フレッツ・ADSL/Bフレッツ(PPPoE)→P.22の③へ

Yahoo！BB/CATV(DHCP)→P.30の③へ

7. 本製品を工場出荷時の状態に戻す

1. 本製品の電源が入っていない状態で、背面のInitスイッチを押しながらACアダプターのソケット部をコンセントに差し込み、電源を入れます。
   ※ Initスイッチはゼムクリップなど堅くて細いもので押し続けてください。

2. Status LEDが点滅します。そのまま約20秒間押し続けて、Initスイッチを離します。
   Status LEDはinitスイッチを離すとすぐに消えます。

3. Status LEDが消灯したら、本製品が工場出荷時の状態に戻ります。

8. 製品仕様

CG-WLBARBV2/CG-WLBARBV2-P

区分	項目	細目	仕様
WAN仕様	サポート規格		IEEE 802.3(10BASE-T)/IEEE802.3u(100BASE-TX)
	インターフェイス		
		コネクター	RJ-45 × 1
		規　格	10BASE-T/100BASE-TX Full Duplex/Half Duplex オートネゴシエーション
		MDI/MDI-X 切換	自動認識
	アクセス方式		CDMA/CD
	転送速度		10Mbps/100Mbps
LAN仕様	サポート規格		IEEE 802.3(10BASE-T) / IEEE802.3u(100BASE-TX) / IEEE802.3x(Flow Control)
	インターフェイス		
		コネクター	RJ-45 × 4
		規　格	10BASE-T/100BASE-TX　Full Duplex/Half Duplex オートネゴシエーション
		MDI/MDI-X 切換	全ポート自動認識
	アクセス方式		CDMA/CD
	スイッチング方式		ストア＆フォワード
	転送速度		10Mbps / 100Mbps
電源部	本体		
		定格入力電圧	DC 12V
		最大消費電流 / 電力	480mA / 5.76W
	AC アダプター		
		定格電圧(入力 / 出力)	AC 100V(50/60Hz) / DC 12V
無線部	国際規格		IEEE802.11b, IEEE802.11
	国内規格		ARIB STD-T66
	伝送方式		直接拡散型スペクトラム拡散方式(DS-SS)
	アクセス方式		CSMA/CA
	伝送速度		IEEE802.11b：11/5.5/2/1Mbps
	セキュリティー		ESSID　:IEEE802.11…ID(文字列)による識別 WEP　:64/128bit WPA PSK　:パーソナル TKIP(WPA の設定内に含む) ステルス AP MAC アドレスフィルタリング
	アンテナ形状 / 方式		ダイポールアンテナ / ダイバシティ
	周波数帯域(中心周波数表示) / チャンネル		IEEE802.11b:2.412 ～ 2.472GHz/1 ～ 13ch
	対応モード		Infrastructure
環境条件	動作時温度 / 湿度		0 ～ 40℃/90% 以下(結露なきこと)
	保管時温度 / 湿度		－ 20 ～ 60℃/95% 以下(結露なきこと)
外形寸法			40(W)× 103(D)× 155(H)mm (本体のみ、アンテナ部除く)
質量(本体のみ)			252g

※ CG-WLBARBV2-P は、本製品(CG-WLBARBV2)と無線 LAN カード(CG-WLCB11V3) とのセット商品です。

CG-WLCB11V3 （CG-WLBARBV2-P にのみ付属）

無線部	サポート規格	(国際規格)IEEE 802.11、IEEE802.11b (国内規格)ARIB STD-T66/RCR STD-33
	伝送方式	直接拡散型スペクトラム拡散方式(DS-SS)
	アクセス方式	CSMA/CA
	伝送速度	11/5.5/2/1Mbps 自動切り替え
	セキュリティー	ESSID :IEEE802.11…ID(文字列)による識別 WEP :64/128bit の鍵による暗号化 WPA EAP:エンタープライズ…IEEE802.1x の認証 (Windows XP SP1 以降) WPA PSK:パーソナル(Windows XP SP1 以降) TKIP、AES(WPA の設定内に含む)
	アンテナ形状 / 方式	マイクロチップデュアルアンテナ / ダイバシティー
	PC インターフェース	PC Card Standard(Card Bus)Type II 準拠
周波数帯域(中心周波数表示)/ チャンネル		2.412 ～ 2.484GHz/1 ～ 14ch
通信モード		Infrastructure/Ad-Hoc
ローミング		IEEE802.11 準拠
電源部	動作電圧	DC 3.3V
	最大消費電力	送信時:1485mW、受信時:825mW
	最大消費電流	送信時:450mA、受信時:250mA
環境条件	動作時温度 / 湿度	0 ～ 40℃/90% 以下(結露なきこと)
	保管時温度 / 湿度	－ 10 ～ 60℃/95% 以下(結露なきこと)
外形寸法		54(W)× 100(D)× 5(H)mm(アンテナ部含む)
質量		34g

工場出荷時の設定

(CG-WLBARBV2)

通信モード	Infrastructure
ESSID	corega
チャンネル	6
暗号	無効
認証方式	Auto

(CG-WLCB11V3)

通信モード	Infrastructure
ESSID	corega
チャンネル	Auto
暗号化	無効

保証と修理について

■保証について

別紙の「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。本製品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず本書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページに掲載されている「修理依頼書」をプリントアウトの上必要事項を記入されたものか、「製品に関するご質問」にある必要事項を記入されたものを、製品保証書および購入日の証明できるもののコピー（レシート等可）を添付し、製品（付属品一式と共に）をご購入された販売店へお持ちください。修理をご依頼する際は、以下の点にご注意ください。

※弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。

- 修理期間中の代替機等は弊社では用意しておりませんので、予めご了承ください。
- 保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- 製品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- 修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

■有償修理について

故有償修理の場合は、ご購入の販売店へお持ちください。欠きのホームページに、有償修理価格が記載されておりますので、ご覧ください。

http://www.corega.co.jp/repair/

■製品に関するご質問は･･･

製品に関するご質問は、弊社ホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または、下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、コレガサポートセンターまでメール、FAX、電話のいずれかでお問い合わせください。

※弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。

※ FAX で詳細な情報を送付いただくと、より早く問題を解決することができます。

■お問い合わせ先

製品に関するご質問は、弊社ホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または、下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、コレガサポートセンターまでメール、FAX、電話のいずれかでお問い合わせください。

・Mail サポート　：下記の URL からユーザー登録した後、お問い合わせください。

http://www.corega.co.jp/faq

・FAX/TEL　：FAX 045-476-6294　TEL 03-3797-1085

・受付時間　：10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 18:00　月～金（祝・祭日を除く）

・必要事項　：ご質問の前に、あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

- 製品名
- シリアル番号　(S/N)、リビジョンコード (Rev.)
- お名前、フリガナ
- 連絡先電話番号、FAX 番号
- 購入店
- 購入日付
- お使いのパソコンの機種
- OS
- お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）
- ネットワーク構成

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・本製品の仕様またはそのご使用により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

2004 年 5 月 Rev.A 初版